

漁船勢力の概要

令和元年12月31日現在の漁船隻数は、8,565隻（海水動力漁船8,529隻，海水無動力漁船32隻，淡水動力漁船4隻）で前年に比べると303隻の減少となっている。

海水動力漁船についてみると、5トン未満階層は7,178隻（84%）、5トン以上階層は1,351隻（16%）と本県では5トン未満の小型漁船が大半を占めている。（4～6ページ参照）

なお、海水動力漁船の概要は次のとおりである。

(1) 船型別動向（4～6ページ参照）

5トン未満の階層は、前年と比べ285隻減少し（1トン未満で116隻減，1トン以上3トン未満で100隻減，3トン以上5トン未満で69隻減）7,178隻となった。

5トン以上20トン未満の階層は、前年と比べ14隻減少し（5トン以上10トン未満で17隻減，10トン以上15トン未満で3隻増）1,308隻となった。

20トン以上の階層は、前年と比べ1隻減少し（200トン以上で1隻減）43隻となった。

(2) 漁業種類別動向（8ページ参照）

5トン未満階層では、一本つり漁業が4,201隻で全体の過半数を占め、次いで刺網漁業が1,225隻，魚類養殖等の雑漁業が812隻，採介藻漁業が267隻，ひき網漁業が157隻となっている。

5トン以上階層では、雑漁業が692隻で、以下、一本つり漁業が233隻，刺網漁業が80隻となっている。

(3) 船質別動向（10ページ参照）

船質別には、鋼船50隻（0.6%），木船27隻（0.3%），FRP船8,452隻（99.1%）の構成となっている。

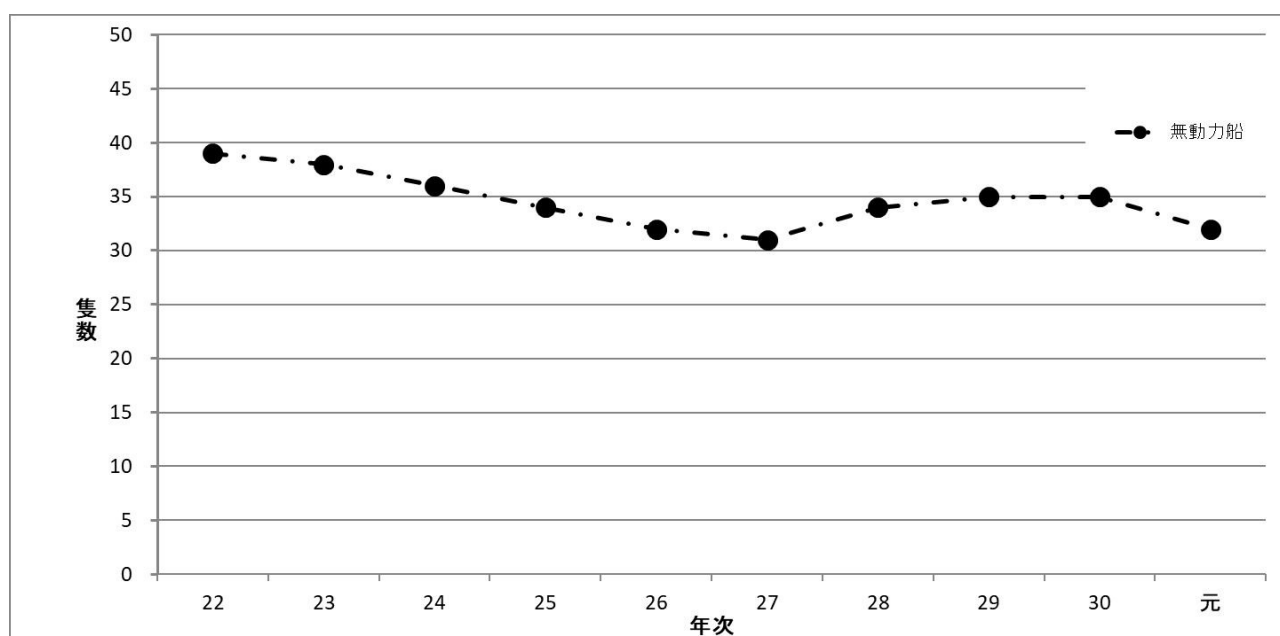
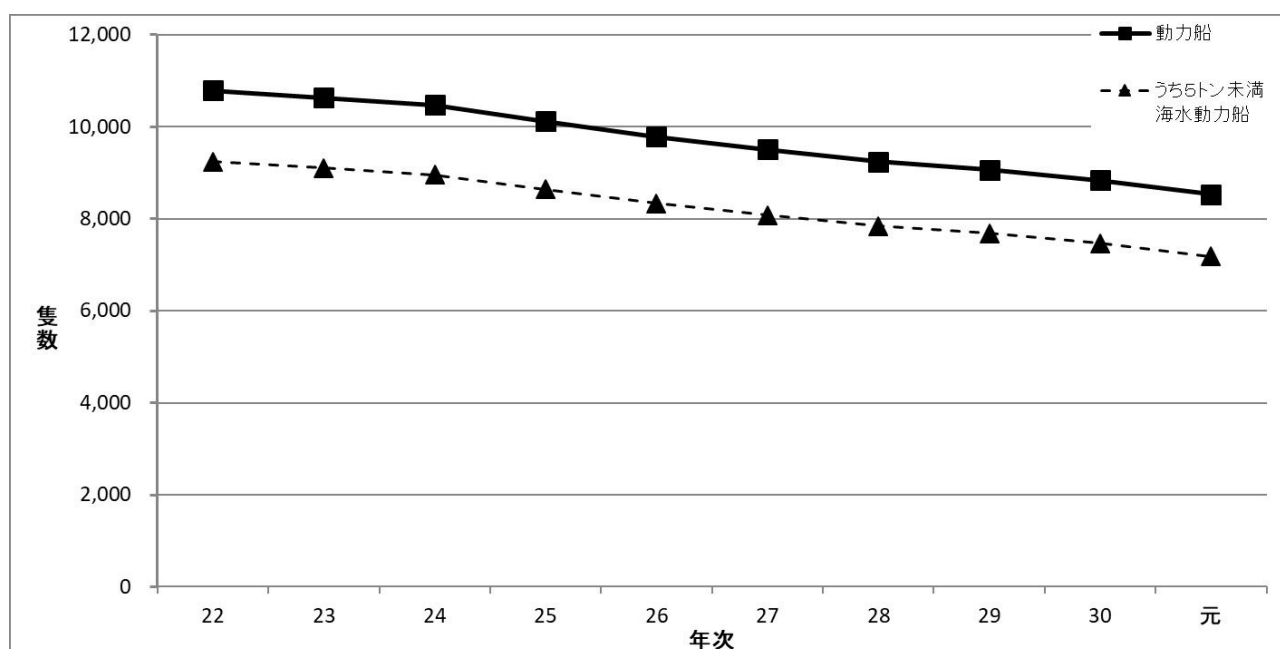
(4) 建造状況（34～35ページ参照）

令和元年（2019年）の新規建造船は14隻であった。トン数別では、5トン未満5隻（35.7%），10トン以上15トン未満で5隻（35.7%），15トン以上20トン未満が3隻（21.4%），300トン以上500トン未満が1隻（7.1%）であった。

漁船の推移

(単位:隻)

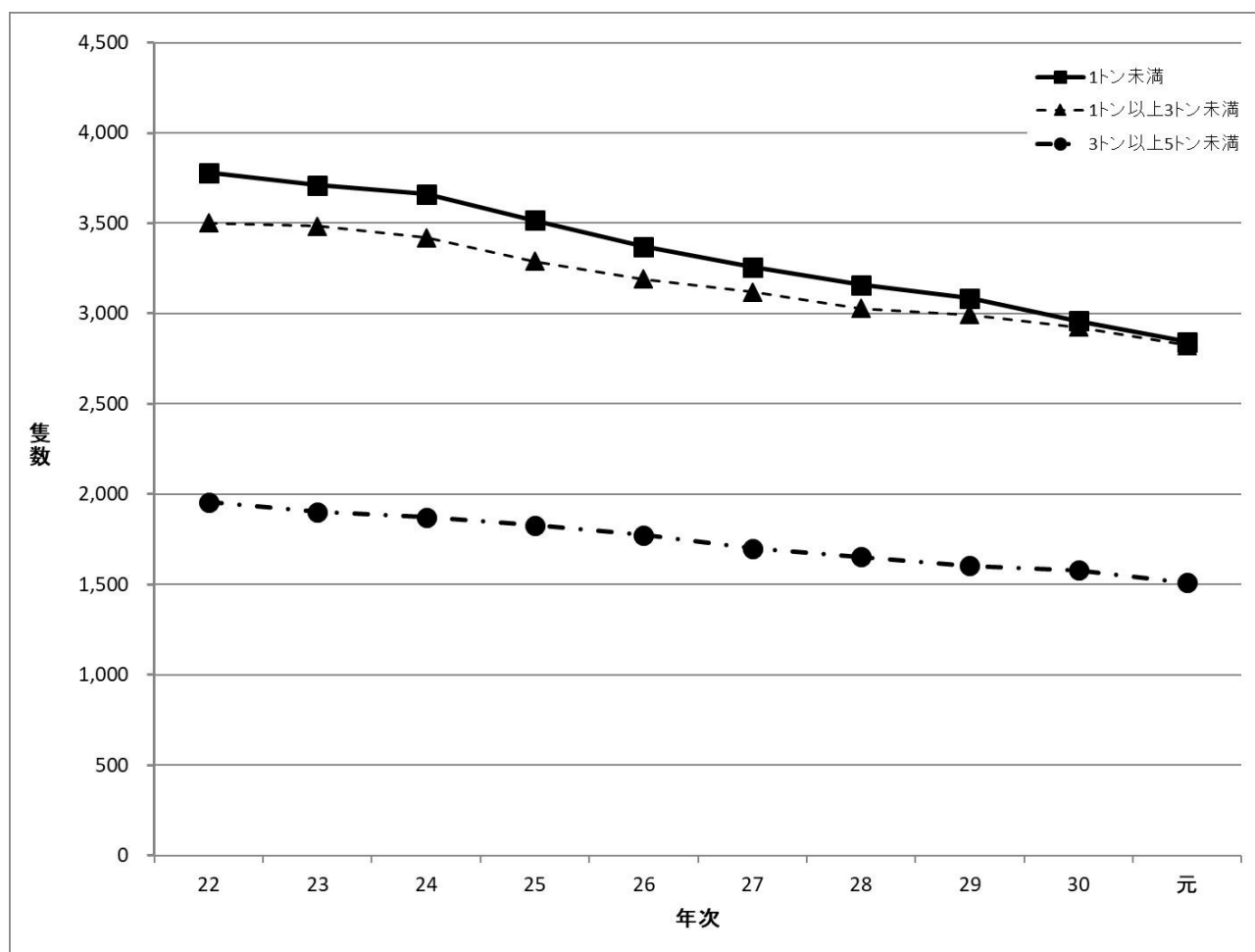
年次	22	23	24	25	26	27	28	29	30	元
隻数総計	10,824	10,669	10,509	10,146	9,812	9,540	9,277	9,096	8,868	8,565
動力船	10,785	10,631	10,473	10,112	9,780	9,509	9,243	9,061	8,833	8,533
うち5トン未満 海水動力船	9,235	9,097	8,954	8,636	8,335	8,078	7,840	7,684	7,463	7,178
無動力船	39	38	36	34	32	31	34	35	35	32



5トン未満の海水動力漁船の推移

(単位:隻)

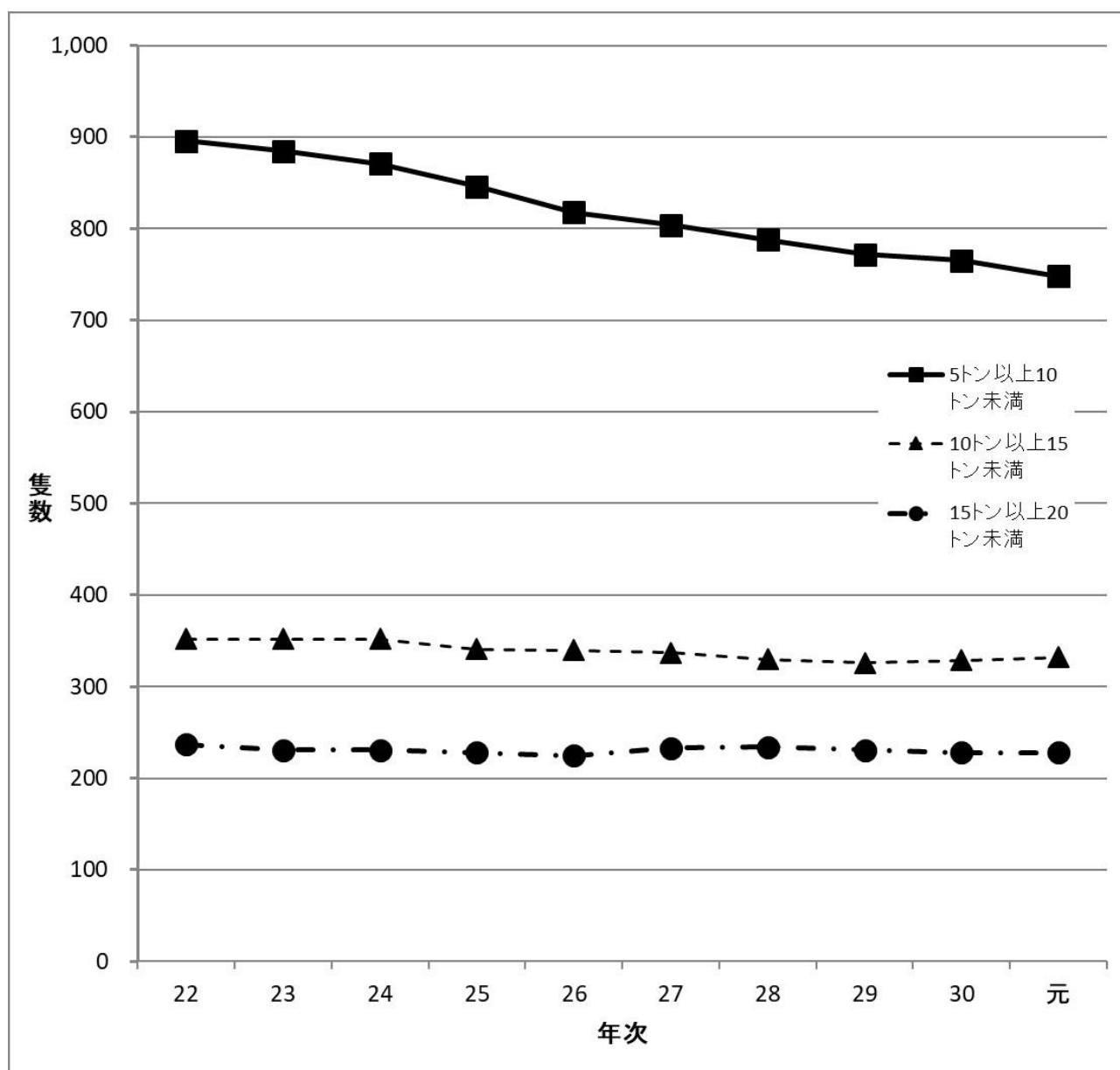
年次	22	23	24	25	26	27	28	29	30	元
小計	9,235	9,097	8,954	8,636	8,335	8,078	7,840	7,684	7,463	7,178
1トン未満	3,779	3,711	3,662	3,517	3,371	3,258	3,159	3,085	2,960	2,844
1トン以上3トン未満	3,500	3,484	3,419	3,290	3,191	3,119	3,027	2,994	2,924	2,824
3トン以上5トン未満	1,956	1,902	1,873	1,829	1,773	1,701	1,654	1,605	1,579	1,510



5トン以上20トン未満の海水動力漁船の推移

(単位:隻)

年次	22	23	24	25	26	27	28	29	30	元
小計	1,485	1,468	1,454	1,415	1,383	1,374	1,352	1,329	1,322	1,308
5トン以上10トン未満	896	885	871	846	818	804	788	772	765	748
10トン以上15トン未満	352	352	352	341	340	337	330	326	329	332
15トン以上20トン未満	237	231	231	228	225	233	234	231	228	228



20トン以上の海水動力漁船の推移

(単位:隻)

年次	22	23	24	25	26	27	28	29	30	元
小計	62	62	61	57	58	53	48	45	44	43
20トン以上50トン未満	1	1								
50トン以上100トン未満	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1
100トン以上200トン未満	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
200トン以上	57	57	57	53	54	50	45	42	41	40

